

健康診断で見つかる「Lp(a)」。
あなたの心臓と血管を守る、
新しい合言葉です。

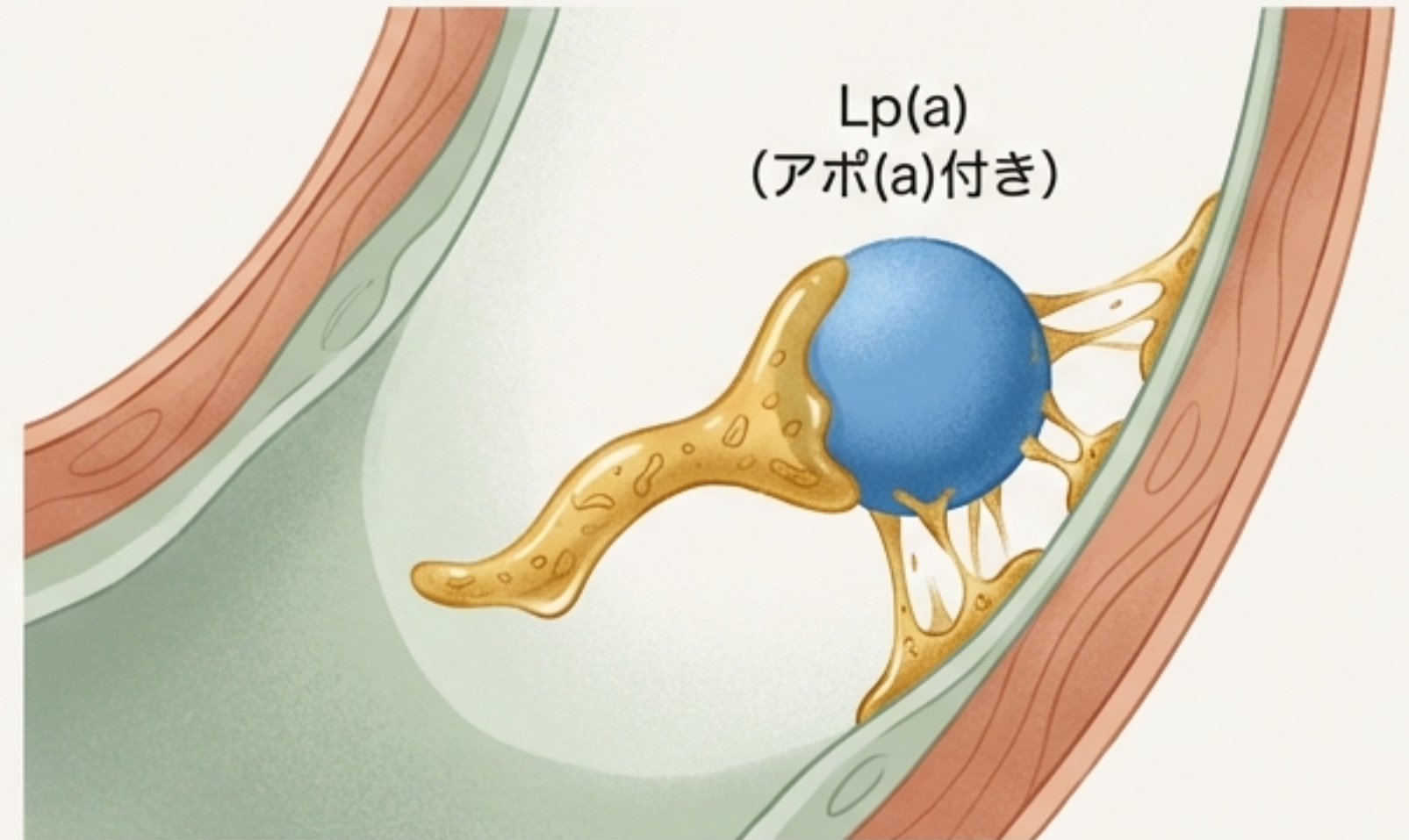
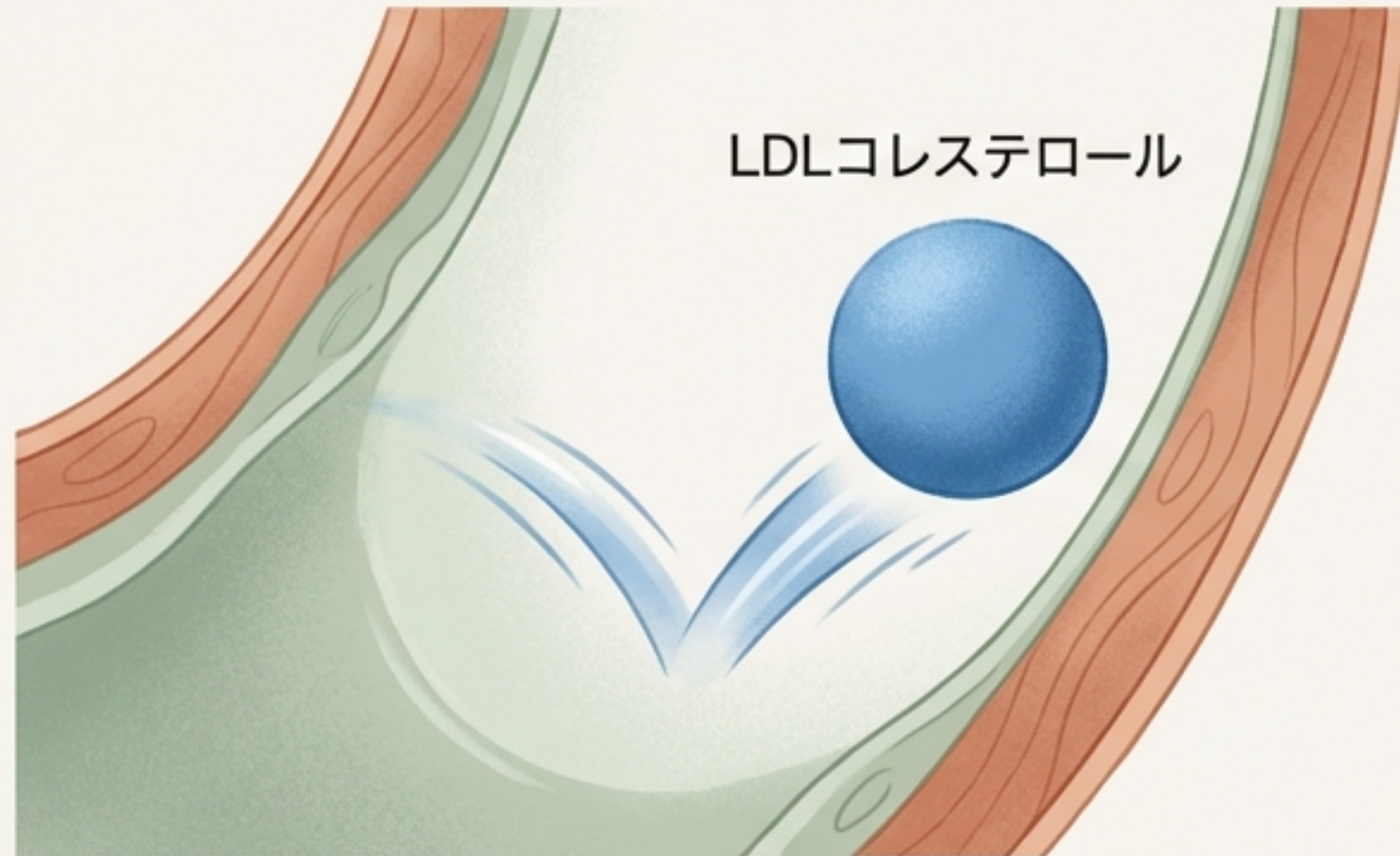
これから一緒に、正しく知って、
賢くつきあっていきましょう。



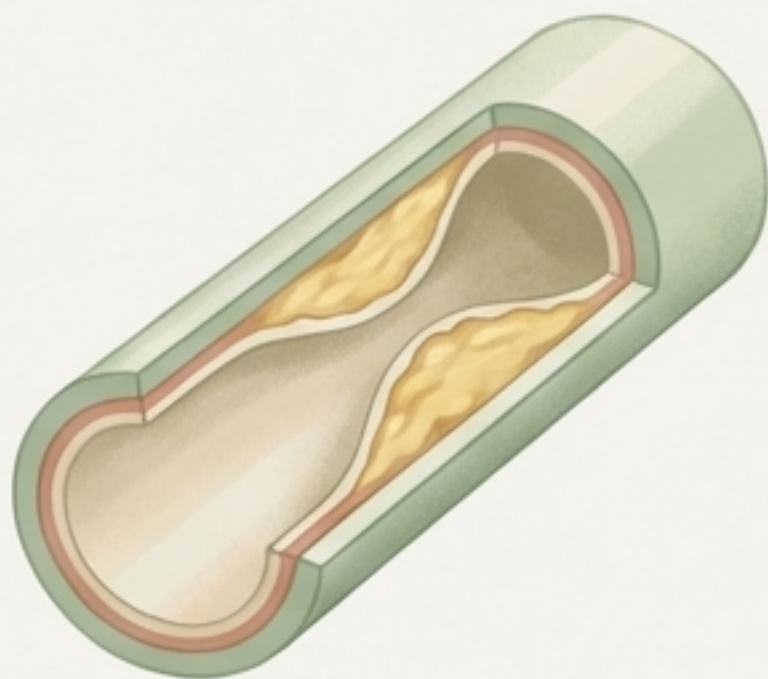
「悪玉コレステロール」の、少し“厄介な”親戚です。

皆さんがご存知の「悪玉(LDL)コレステロール」という球に、
皆さんがご存知の「悪玉(LDL)コレステロール」という球に、「アポ(a)」という、とても強力な接着剤のような
尻尾がついたものがLp(a)です。

この「接着剤」のせいで、普通の悪玉コレステロールよりも血管の壁にベタッとくっつきやすく、
一度くっつくと離れにくい性質を持っています。

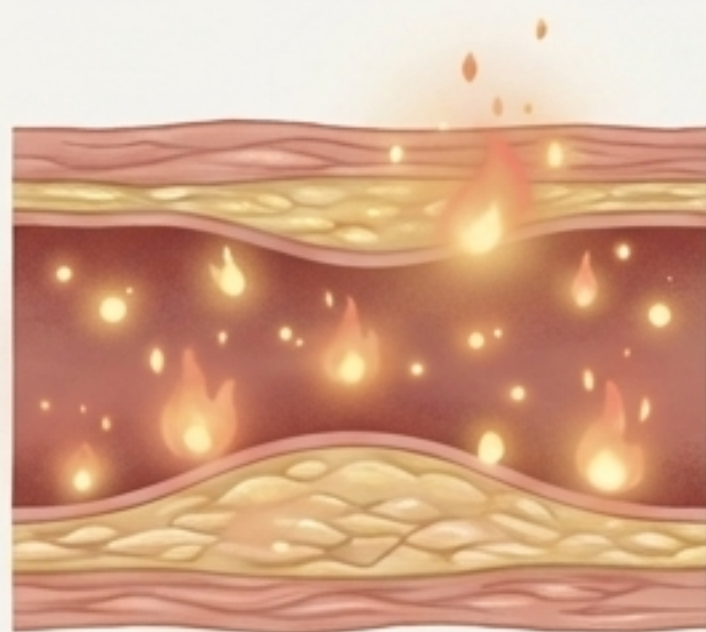


血管の中で「3つの悪さ」をすることが分かっています。



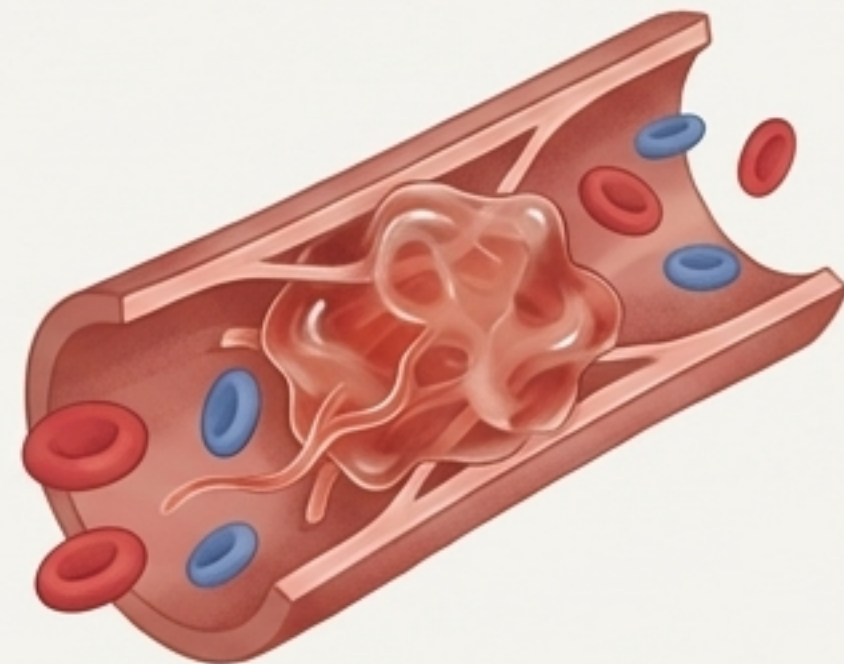
1. 壁を厚くする (動脈硬化)

血管の壁に入り込み、コレステロールを沈着させ、壁を厚く、硬くします。



2. 炎症を起こす (血管の火事)

酸化リン脂質(OxPL)という“火種”を運び込み、血管の壁でボヤ（炎症）をくすぶらせ続けます。

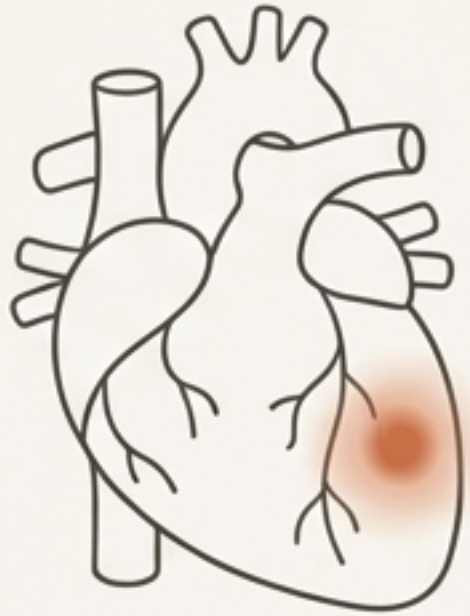


3. 血を固まりやすくする (血栓)

血液を溶かす仕組み（線溶）を邪魔して、血管が詰まる原因となる「血栓」をできやすくします。

これらの「悪さ」が、重大な病気につながる可能性があります。

Lp(a)が高いと、生涯を通じて以下のリスクが上がるということが、多くの研究で示されています。



心筋梗塞



脳梗塞



大動脈弁狭窄症

心臓の出口にある“扉”が硬くなり、開きにくくなる病気です。

なぜ高いのか？ — これは、あなたの生活習慣のせいではありません。

Lp(a)の血中濃度は、**実にその80%~90%が、生まれ持った遺伝的な設計図**で決まっています。

食事や運動をどれだけ頑張っても、この数値自体はほとんど変わりません。

「不摂生がたたったのでは…」と、ご自身を責める必要は全くないのです。

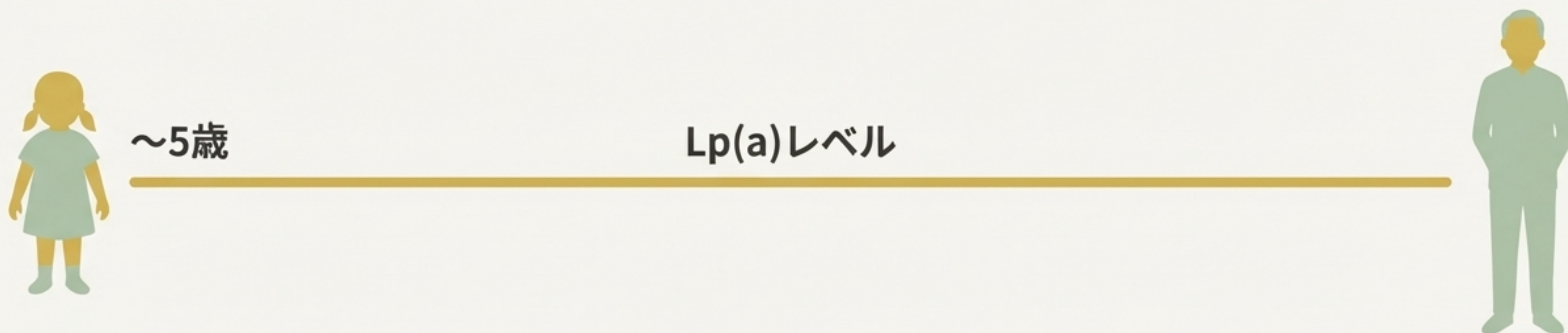


80%—90%は遺伝

Lp(a)は、生涯のパートナーです。

Lp(a)の値は、おおよそ5歳までに成人と同じレベルに達し、その後は大きな病気や特殊な状況を除き、一生生涯ほとんど変動しません。

だからこそ、一度数値を把握しておくことが重要になります。
何度も測定する必要は基本的にありません。



まず知っておきたいこと：一般的な対策では下がりません。

Lp(a)はその特殊な性質から、他のコレステロールとは異なるアプローチが必要です。



食事・運動（Diet & Exercise）：

健康全般に非常に重要ですが、Lp(a)の数値を直接下げる効果はほぼありません。



スタチン製剤（Statins）：

悪玉(LDL)コレステロールを下げる基本のお薬ですが、Lp(a)は下げず、むしろ少して上げてしまう可能性も報告されています。

では、どうすれば？ — Lp(a)を孤立させる「包囲網」を作ります。

Lp(a)そのものを下げる標準薬はまだありません。だからこそ、Lp(a)が悪さをするのを手助けする“**仲間**”を徹底的に減らすことが、今できる最も強力な防御策です。

これが「総合力」で血管を守るということです。

✓ **悪玉(LDL)コレステロール:**
最も重要な仲間。お薬で
目標値までしっかり下げる。

✓ **糖尿病（高血糖）:**
血管の炎症を進ませない。



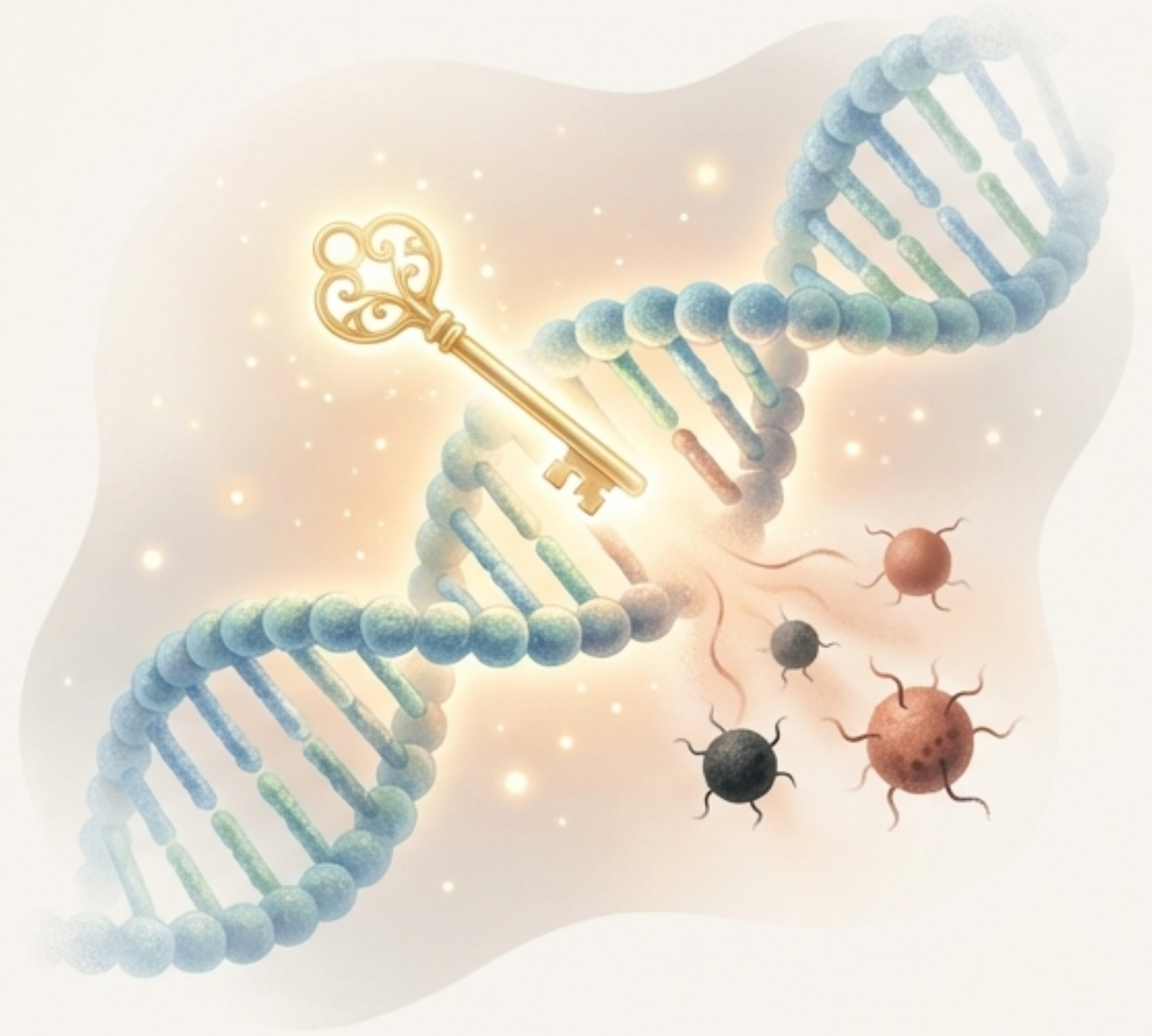
✓ **高血圧:**
血管へのダメージを減らす。

✓ **喫煙:**
血管にとって最大の敵。
禁煙は必須です。

未来への希望：医療は、あなたの体質を見過ごしません。

現在、世界中でLp(a)の遺伝的な設計図（メッセンジャーRNA）に直接働きかけ、その生成を根本から抑える**新しいタイプのお薬（注射薬）**の開発が最終段階に入っています。

これらの薬は、Lp(a)を**最大80%以上低下**させることが示されており、数年以内に、この体質を直接治療できる日が来ることが期待されています。



「Lp(a)が高い体質」を知れたこと。 それが、あなたの最大の武器です。

- 知らなければ、対策は打てません。
あなたの体質を早期に知れたことは、
先手を打って血管を守る絶好のチャンスです。
- これからは、私たち医療チームと一緒に、
定期的に血管の状態を見守りながら、
防御を固めていきましょう。
- どんな些細なことでも、不安なことは
いつでも私たちに相談してください。

